

# 松林

No.23

令和8年1月16日  
校長 古瀬 義房



## 学校の様子

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



## 書初め



まつのこ学級

6年生



3学期がスタートしました。1月9日(金)全校で書初めに挑戦しました。

のびのびとした字、元気のよい字、力強い字など一文字一文字、心をこめて書きました。書初め展をお楽しみに。

# ニコニコラム

生活指導主任  
特別支援コーディネーター

新しい年が明けました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 1月の生活目標

【生活】友達と仲良くしよう。

【安全】休み時間中の避難の仕方を確認しよう。

1月は子供たちにとって、冬休みの開放感から学校生活のリズムを取り戻す「再始動」の月です。

学校のルールやマナーをもう一度確認しながら、どの子にとっても、安心・安全な学校を目指して指導、支援していきます。



## 【心と体の「スイッチ」を入れよう】

長い冬休みが終わり、学校生活が再開しました。休み中の夜ふかしや朝寝坊で、体内時計が少しずれてしまっている人も多いかもしれません。1月は、「寒さ」という強敵も加わり、朝起きるのがより辛くなる時期です。まずは、「早寝、早起き、朝ごはん」という基本に立ち返りましょう。特に、「早寝」は、良質な睡眠をとることで免疫力を高め、風邪に負けない体を作ってくれます。学校生活のリズムを早く取り戻し、元気に一年のスタートを切りましょう。

御家庭でお声掛けいただく時には、ぜひ「休みモードを引きずらないよ!」「もう冬休みは終わったよ!」と強く言うのではなく、「体と脳みそを学校モードに切り替えよう。」「お!自分から準備ができたね。さすが!」など、前向きな言葉かけを意識してみてください。学校でも子供たちが「やる気モード」になれるよう、上手に励ましていきます。

## 【始めよう「できた!」貯金】

あけましておめでとうございます。冬休みはご家族でゆっくり過ごせたでしょうか。新しい年を迎えると、「今年こそは〇〇ができるようになってほしい!」「今年は△△に挑戦させたい!」と期待を膨らませることがあるかもしれません。大人は、つい「できないことを」を克服させようと頑張ってしまいがちですが、今月はあえて「今できていること」にスポットを当ててみるのはいかがでしょう。「元気にはいさつができた」「テレビをやめて宿題に取り掛かることができた」など、大人から見れば当たり前のことでも、子供にとっては一つ一つが立派な成長の証です。

特別支援教育の視点では「スマールステップ」を大切にします。高いハードルを越えることは大変ですが、小さな「できた!」を積み重ねることで、子供たちの中に「やればできる!」という自信の貯金が貯まっていきます。この自信が新しいことに挑戦する原動力となります。今年も学校と家庭とが連携して、お子さんの「できた!」をたくさん見つけて貯金を増やしていきましょう。

